

No.24

2019

8/27



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索

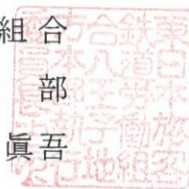


「第23回定期大会及び各支部大会発言に基づく要請書」を 中央本部に提出しました

2019年8月27日

東日本旅客鉄道労働組合
中央執行委員長 山口 浩治殿

東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部
執行委員長代理 沼澤 眞吾



第23回定期大会及び各支部大会発言に基づく要請書

私たち八王子地本は7月7日に第23回定期大会を開催しました。今大会には中央本部より加藤書記長はじめ佐藤・銭谷中執にもご出席頂いたことから、多くの代議員より組織運営、不当労働行為に抗するたたかい、会社施策への向き合い方について中央本部に対する率直な疑問を議論し、来賓感想で答えてほしいという発言がされました。しかし来賓感想に立った佐藤中執からはその時間のほとんどを「弁護士見解を代読する」などという感想ならざる感想であったことには組合員から失望の声があがっています。上原中執は地本第22回定期委員会場で「呼ばれれば職場に行きます」とあいさつされましたが、今日まで上原中執はじめ中央本部は一度も八王子の職場にはおいで頂けていません。こうしたことから、その後に開催された立川支部大会（2019.7.21）、支社支部大会（2019.7.23）、八王子支部大会（2019.7.27）、甲府支部大会（2019.7.29）においても中央本部への不信・不満をはじめ「本部は職場の奮闘に答えるべきだ」との指摘がなされました。

あらためて言うまでもなく未曾有の組織破壊攻撃に対して前面に立って歯を食いしばって闘っているのは現場の組合員です。こうした組合員をないがしろにする行為を断じて許すことはできません。

八王子地本第23回定期大会当日にお渡しした職場からの要請書についても未だに内容上の返答はありません。こうした中央本部の不誠実な姿勢を見直し、今この瞬間も悩み苦しみつつも奮闘している現場に答えるべく地本大会発言の内容に対する回答を要請します。

なお、2019年9月3日までに書面にてご回答頂きますようお願いいたします。

以上

組合員からの率直な意見に対し、真摯な回答を求めます